

日本原子力発電(株)

日本原電は、

廃炉事業を専門に行え！

原発再稼働のためにデータまで書き換える 日本原電

東京電力や関西電力など大手の電気会社が出資して設立された日本原子力発電株式会社（日本原電）は、敦賀原発2号機（福井県）を何としても再稼働しようとしています。しかし、原子炉の真下にある断層を調査した重要なデータを書き換えていたことがわかり、原子力規制委員会での再稼働に向けた審査を8月からストップされています。

原子力発電所は、原子炉など重要な施設の下に「活断層」があると地震が起きる可能性があり、施設が破壊されるため、設置してはならない決まりになっています。敦賀原発2号機の原子炉の下の断層が、「活断層」だと判断されれば、敦賀原発2号機は運転することができず、廃炉になります。2013年、原子力規制委員会の専門家調査団は、2号機下の断層は「活断層」だとする報告書をまとめました。

それでも日本原電は、「活断層ではない」と主張して、再稼働のための審査を申請しました。しかし、2019年に提出した資料に1,000件もの誤記があって審査が中断。2020年2月に再開された審査会合で、今度はデータの書き換えが見つかったのです。「活断層」かどうかを判断する重要な地点の地層

をボーリング調査で調べた結果が、固まっていない「未固結」と記載されていたのに、「固結」（固まっている）と書き換えたりして、自分の主張に有利なようにしたのです。

科学を扱う者にとって、データの書き換えは、いかなる時でもやってはならないことです。ましてや想定できないほどの人の命を左右する原発の安全性に関わるデータを書き換えるなど絶対に許されないことです。日本原電には、原子力発電を行う資格はありません。

発電しないのに利益を上げるゾンビ会社 日本原電

日本原電は原子力発電のためにつくられた会社ですが、敦賀原発1号機と東海原発（茨城県）はすでに廃炉が決まっています。東海第二原発も再稼働に周辺自治体の同意が得られず、裁判でも運転差し止めの判決が出され、止まったままです。敦賀原発2号機も動かさないので、日本原電は、この10



<裏面に続く>

全造船関東地協労働組合
よこはまシティユニオン

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505
TEL 045-575-1948
yuniyoko.sakura.ne.jp

年間全く電気を作っていません。なのに、2021年3月の決算は963億円もの売り上げを上げています。各電力会社から、契約の基本料金が支払われるからです。負担しているのは、各電力会社の利用者である私たち市民です。

いつまでも発電ゼロのままでは存在する意味のない日本原電は、首都圏に立地し、30キロ圏内に90万人以上の人に住む東海第二原発を再稼働させようとしています。見通しはありません。敦賀原発2号機が頼みの綱なので、何としても審査に合格したくて



データの書き換えまでやったのでしょ。あまりにひどいやり方なので原子力規制委員会は審査を止めてしまいました。敦賀原発2号機も廃炉にするしかありません。

廃炉で続々と出る放射性廃棄物 原子炉本体はどうする

福島第一、第二原発の10基を入れると、日本で廃炉が決まった原発は24基あります。廃炉工事が進むにつれて、放射能に汚染された膨大な量の廃棄物が生まれます。原子炉本体など高濃度に汚染された廃棄物は、処分方法も、処分する場所も決まっています。

東海原発、敦賀原発1号機は、日本で廃炉になった最も古い原発です。データの書き換えさえ行う日本原電は、原子力での発電事業をやめ、これまでの経験や現状を公開しながら原発の廃炉作業を専門に行っていくべきです。

【組合員N】

■ 故長尾さんの闘いを胸に

よこはまシティユニオンの組合員だった長尾光明さん（故人）は福島第一原発で働き、被ばくが原因で退職後に多発性骨髄腫（血液のガン）を発症し労災認定されました。損害賠償を求めて東京電力を相手に裁判を起こしましたが、東電は労災認定はおろか病名すら否定。裁判所も長尾さんの請求を棄却しました（最高裁2010年4月）。

■ 原発で働く労働者と共に

原発は電力会社を元請とした4～8次の下請会社で稼働しています。3.11以降、多くの労働者が福島第一原発の収束作業に関わり、被ばくを余儀なくされています。東電福島第一原発の収束・廃炉作業や九電玄海原発の定期検査に従事し、被ばくが原因で白血病になったあらかぶさん（40代男性）は2016年11月22日に東京電力と九州電力を相手に損害賠償を求めて提訴し闘っています。ぜひ多くの皆さまのご支援をお願いします。

■ 職場の問題、いつでもご相談を！

東日本大震災や原発事故を忘れないため、私たちが毎月11日に街頭宣伝活動を始めて11年目になります。これからも、何ができるのかを一緒に考えたいと思います。「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前に一度ぜひ職場の問題をユニオンに寄せてください。一緒に解決しましょう！